令和７年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人　　やまなみ会

グループホーム　草原の風

目　次

1　はじめに　・・・・・ 1

2　利用者状況　・・・・・ 1

3　支援内容　・・・・・ 2

4　防災　行事関連　・・・・・ 3

1　はじめに

利用者の障害も多様化し個々の障害やニーズにあった個別の支援に努めるとともに、本人が安心した生活を継続していけるよう支援を図った。

また、令和 7 年度より完全義務化となった地域連携推進会議及び地域の住民を招いた行事を一緒に行うことにより事業所が地域との関係を構築し利用者が地域の一員として安心して暮らせるような活動を行った。

2　利用者状況

新規で１名利用者確保できたが定員割れの状況は続いている。また、入居者の方も高齢化してきており、介護保険の利用を視野にした市町村等の関連機関との連携を図る必要がある。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
新規						1						
退所												
入院者									1	1	1	1
利用者数	17	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18	18

	知的		身体		計		
年齢	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
～30	1				1		
31～40							
41～50	3	1	1		4	1	男性平均年齢
51～60	2		1		3		58 歳
61 以上		1	7	1	7	2	女性平均年齢
計	5	2	9	1	15	3	56 歳

（令和 8 年 3 月末日時点）

3　支援内容

個別支援計画に沿った支援を行い、日々の声掛け等によりコミュニケーションを取りながら少しでも安心して生活が出来るように取り組んだ。

(1) 金銭管理

利用者については家族が管理される数名を除いて、病院代、買い物代等を各月ごとに出納簿に記載し、金銭の管理を行った。小遣いについては個々の状況に合わせ、相談しながら金銭管理を行った。

(2) 買い物・外出

自分で公共交通機関等を利用できる方には、一部支援を行いながら計画を立てて買い物・外出を行った。その他の利用者の買い物に関しては月１回少人数で数回に分けて行った。外泊に関しては、家族との連絡を密に行い、日時の確認の徹底に努めた。

(3) 健康、食事の管理

毎朝食時の検温・声掛け等を行い、体調不良者を早期に発見できるように努めた。また、村の健康診断等の結果で再検査があった場合は早急に治療を行った。食事の面では、季節の食材など取入れバランスの取れた献立作成、利用者の状況に合わせた食事形態に努め、主治医の指示があった場合は早急に対応を行った。

(4) 日常生活

洗濯、入浴、居室清掃等について常に声掛けを行い、日中事業に参加できるように体調管理を含め支援を行った。

4　防災　行事関連

防災・行事関連については日中事業と連携を図り、同時に行った。

日時	参加数	訓練の種別	想定火点
8/29 10:00	職　員：1 名 利用者：14 名	通報訓練 避難訓練	草原の風 1 階居室
3/19 10:00	職　員：1 名 利用者：14 名	通報訓練 避難訓練	草原の風 1 階居室

行事

日付	内容	事業
4 月	花見	全事業所
5 月	スタミナ会（バーベキュー）	全事業所
6 月	お好み焼きパーティ	全事業所
7 月	日帰り旅行（陽目の里：そうめん流し）	全事業所
8 月	土用の丑の日（ウナギのちらし寿司、野菜の天ぷら）	全事業所
9 月	秋の味覚を楽しもう（秋刀魚、キノコご飯）	全事業所
10 月	身障者体育大会・収穫祭（芋ご飯、芋・かぼちゃ・ゴーヤの天ぷら・のっぺい汁）	全事業所
11 月	おでんパーティ	全事業所
12 月	もちつき・クリスマス会	全事業所
1 月	どんどや・新年会（荻の里温泉）	全事業所
2 月	節分（恵方巻）	全事業所
3 月	ひな祭り（ちらし寿司）	全事業所